

【シーベリー研究会現地検討会（むかわ町）の開催結果】

「(株)遠藤組シーベリーほ場・加工施設の視察、講演会など」
を盛況のうちに終えました。

【日時】平成22年8月25日（水）

13:00～17:00

【場所】株式会社遠藤組の旭岡農場及び
穂別本店の加工施設、旧穂別町役場

【目的】シーベリーは寒冷地での栽培に
適する柑橘系の香りのさわやかな小果
樹で、栄養・機能性成分が豊富に含ま
れ、食品・加工品などへの利用が期待
されています。しかし生産は始まった
ばかりで、今後の普及が待たれる果樹
です。この度、むかわ町を中心に先進
的な経営を進める(株)遠藤組の協力
を得て、同社のシーベリー農場と施設
を視察し情報交換を行いました。

【当日のスケジュール】

1. JR 鶴川駅を貸切バス出発 13:00
2. (株)遠藤組旭岡シーベリー農場
視察 13:30～14:20<説明者;遠藤正
弘氏(同社代表取締役)ほか>
3. 同社穂別本店食品加工施設、苗木
生産施設の視察 14:40～15:20<
説明者;星幸子氏(同社会計課長)他>
4. 意見交換会及び講演(旧穂別町役
場) 15:30～16:10<コーディネー
ター;八戸三千男(シーベリー研究会
会長)、講師;佐藤與重郎氏(北方ベ
リー研究所代表)>
5. JR 鶴川駅にて解散 17:00

【参加者のデータ】

参集範囲:

1. 地域:厚真町、旭川市、江別市、
帯広市、札幌市、士幌町、伊達
市、苫小牧市、長沼町、日立市
(茨城県)、北斗市、幕別町、む
かわ町、森町
2. 業種:農業、民間企業(流通、食
品)、団体、研究機関、大学、国・
道・町村の関係部署及び一般

参加者数:55名



写真1 (株)遠藤組旭岡農場

【結果】

前日までの大雨が止み、晴天が広がる
中、参加者の乗るバスと数台の車で車列
を作り旭岡農場に到着。農場のシーベ
リーは収穫の最盛期を過ぎていたが、ま
だ果実の残る多くの品種を見ることが
できました。同社の農場には現在のと
ころ、果実を取る雌親としてロシア系
9品種、中国系1品種、フィンランド・
ドイツ系2品種、花粉親として5品
種が栽培され

ています。中国系の優実1号の生育が特に優れ生産量も多いこと、地際の脇枝を取り剪定を行ったことで主茎が目立つ管理しやすい樹姿となったこと、果実の色がオレンジから薄黄まで大きな変異があること等の説明ありました。シーベリーには枝に棘があるため収穫作業に難儀することが多い。今回、市販電動鋸を改良し振動により果実を落とす器具、これらの収穫物から夾雑物を除外する篩いなどのデモンストレーションがあり、結果が良好であり、参加者の関心をよびました。



写真2 振動収穫試作機



写真3 果実選別用篩い

平成21年度に整備されたジャム、ソースを製造するための施設の視察、試作された食品の試食等の後、八戸をコーディネーターとして視察全体についての意見交換を行い、適品種の選定、栽植密度、害虫防除等について情報を求める意見が

ありました。



写真4 試食用シーベリー加工品

最後に佐藤與重郎氏（北方ベリー研究所代表、農林水産省産学官連携事業コーディネーター）を講師として「諸外国におけるシーベリー事情」の講演が行われ、ロシア、中国、欧米の野生種、農園、加工品等の情報がスライドを使って説明されました。



写真5 講演会

以上が現地検討会の様子です。大雨の影響でもう一つの農場を見ることはできなかったが、参加者はこれから栽培に取り組もうとする人達が多く、国、自治体の助成制度を活用しながら生産・加工を始めた規模の大きなシーベリー農園を見ることができ、有益だったと思われます。（株）遠藤組の遠藤正弘氏を始めお世話になった皆様に、心からのお礼を申し上げます。（GTBH 八戸三千男）